

令和4年度の徳島大学病院の卒後臨床研修が、多数の新人研修医を迎え開始されました。本院は、メディカルゾーン重点研修プログラムをはじめとして、研修医の皆さんの希望に沿った多様な研修を可能とする柔軟性に富んだ魅力的なプログラムを提供しています。プライマリケアから高度先進医療にわたる幅広い研修内容を吟味し、自分が望むプログラムを組み立て実りある研修に取り組んでください。

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 流行の影響で診療や研修環境が大きく変化し、注意、確認が必要な場面が増えています。このような状況だからこそ感染症全般に関する知識や感染防護対策を学び、新興・再興感染症に対応する力を自身の強みとしてください。本院でも研修の一部に少人数実習やスキルラボでのシミュレーター実技研修を積極的に取り入れ、オンラインセミナー・講習会の充実を図り臨床知識を深めてもらえるよう工夫しています。流行収束の先行きが不透明な中、専門科専攻を含め将来に不安を抱えている方もおられるかと思います。そのような中、研修等で悩みがある時は直ちに相談してください。皆さんが本院の研修を通じて医師として成長し輝く未来を歩めるよう、卒後臨床研修センターを中心に職員全員でサポートいたします。



病院長 香美 祥二

オリエンテーション



患者支援センター

研修医教育講座



気管挿管実習



静脈路確保



縫合実習



電氣的除細動



レジナビFairオンライン 徳島県 2022

広報活動

令和4年度初期研修スタート

令和4年4月1日より、令和4年度の初期臨床研修が開始となりました。メディカルゾーン重点研修プログラム選択者2名を含め、1年次研修医14名が加わり、2年次研修医12名と合わせて初期研修医は全体で26名となりました。4月から当院で研修を開始する初期研修医に対しては、4月1日～4月8日まで病院オリエンテーションを行いました。昨年と同じく、研修医がマスターすべき基本的な知識・技能・態度の習得だけでなく、看護部・薬剤部・医療技術部・患者支援センターを含む事務部などの多くの職種のご協力のもと病院全体の業務についても研修し、スムーズに病院に溶け込めるよう努めました。

オリエンテーションを終えた1年次の研修医は4月11日から、各診療科にて研修を開始しました。依然として徳島県内外において新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の流行が懸念されていますが、今後も県外の協力病院との連携を可能な限り

維持できればと考えております。また、県下の研修病院にはこれまで通り協力病院として引き続き研修医の指導にあたっていただくとともに、医師会・徳島県の協力のもと徳島県全体で全ての研修医をサポートしていきます。まだ至らぬ点も多いと思いますが、温かい目で研修医をご指導いただけますようお願いいたします。

また、本年度から卒後臨床研修センターの新センター長として岩田 貴教授(教養教育院)が、新センタースタッフとして津田 恵特任助教(泌尿器科)、笹総一郎特任助教(食道・乳腺甲状腺外科)が赴任されました。上記3名と西 京子副センター長(脳神経外科)、門田 宗之特任助教(循環器内科)の5名体制で、研修医の先生方が安全で充実した研修を送れるよう尽力して参ります。徳島大学病院の卒後臨床研修に今後もご協力ご支援の程をよろしくお願い申し上げます。

卒後臨床研修センター新任スタッフ紹介



センター長 岩田 貴

本年4月にセンター長を拝命しました岩田 貴です。臨床研修プログラムで医療人としての基本をしっかりと身につけ、医学・医療の社会的ニーズを意識して自己研鑽し、専門研修につながるようにセンター職員一丸となって各診療科のご協力を仰ぎながら支援いたします。

「すべては患者さんのため」を常に心掛けて大きく羽ばたいてください。



特任助教 津田 恵

徳大出身、また、研修中の出産・育児経験者として精いっぱいサポートします。



特任助教 笹 聡一郎

研修医の先生たちが初期研修2年間を心身ともに健全な状態で修了できるよう全力で支えます。

令和5年度 徳島大学病院 医師臨床研修プログラム

令和5年度の卒後研修プログラムは、「AWAすだちプログラム」・「メディカルゾーン重点研修プログラム」・「産婦人科研修プログラム」・「小児研修プログラム」の4つの中から選択可能です。

各プログラムの詳細は徳島大学病院卒後臨床研修センターホームページをご覧ください。

パターン1 | AWAすだちプログラム (定員20名)

徳島大学病院と全国の協力病院にて研修を行うプログラムです。研修病院や研修科は、希望に沿って柔軟に対応可能です。全国の協力病院にしましては下の地図に示していますが、病院の詳細にしましては、徳島大学病院卒後臨床研修センターホームページをご覧ください。

パターン2 | メディカルゾーン重点研修プログラム (定員3名)

徳島大学病院・徳島県立中央病院にて構成されるメディカルゾーンを中心としたプログラムです。大学病院と市中病院の特色を生かし、高度医療から地域医療まで幅広い研修が可能です。

パターン3 | 産婦人科研修プログラム (定員2名)

将来、産婦人科医を目指す研修医を対象とした、産婦人科医療に関し、幅広く専門的な研修が行えるプログラムです。

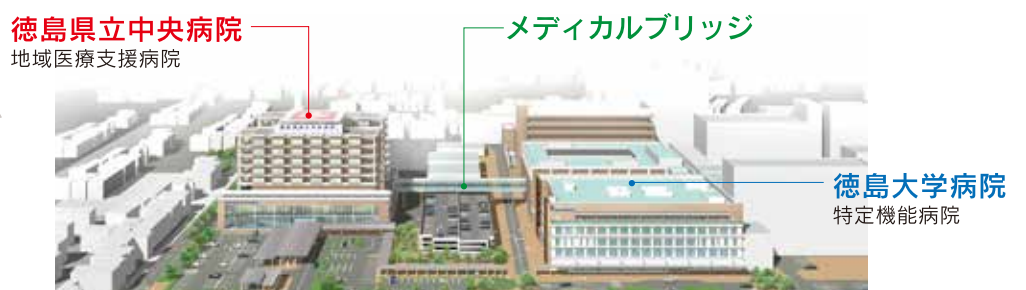
パターン4 | 小児研修プログラム (定員2名)

将来、小児科医を目指す研修医を対象に高度先進医療から一般小児科、小児救急、新生児医療など幅広い小児医療について専門的に研修が行えるプログラムです。

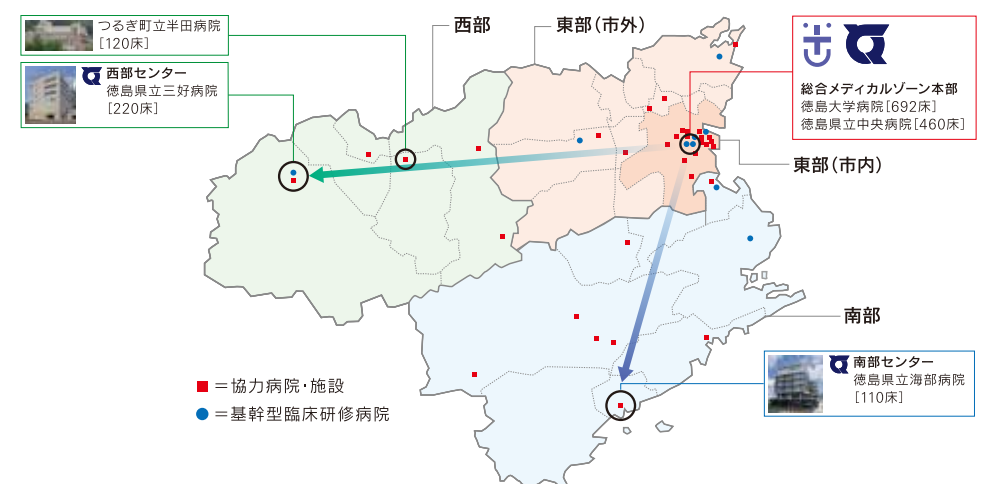


*総合メディカルゾーン構想とは？

高度医療を提供する特定機能病院である徳島大学病院と高度急性期医療の中核病院である徳島県立中央病院をメディカルゾーン本部とし、西部(徳島県立三好病院・つるぎ町立半田病院)、南部(徳島県立海部病院)も合わせて「オール徳島」で運用を行い、最先端の医療から地域医療まで幅広く県内の医療ニーズに答える全県をカバーする巨大なメディカルセンターを形成する構想です。



*徳島県内の協力病院・施設(地域医療)



徳島大学病院卒後臨床研修プログラム説明会スケジュール

4月16日(土) レジナビFairオンライン 徳島県 2022 ~臨床研修プログラム~

7月 2日(土) 令和5年度 徳島大学病院卒後臨床研修プログラム説明会

研修医紹介

1

1年目研修医

岡田 梨花



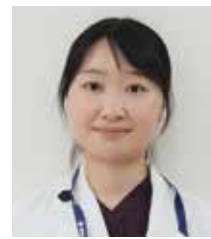
1日1日を大切に、たくさんの方の事を学び成長していきたいです。よろしくお願いたします。

河本 優希



未熟な点ばかりでご迷惑をおかけいたしますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

鈴木 杏奈



未熟で至らぬ点が多いかと思いますが、精一杯精進して参ります。ご指導の程よろしくお願致します。

砂田 陽一郎



病気を診るのではなく、人を診る医師を目指して日々努力します。ご指導よろしくお願いたします。

中西 颯斗



まだ分からない事も多いですが、がんばりますので、ご指導よろしくお願いたします。

新居 寛子



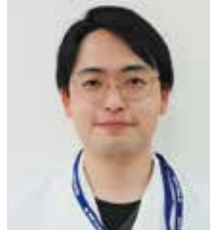
日々成長できるよう、誠心誠意研修に取り組む所存です。不肖ながらご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

松崎 慶仁



至らぬ点が多く大変ご迷惑をおかけしますが、日々努力を重ねていく覚悟です。ご指導よろしくお願いたします。

亀井 友志



右も左も分らず戸惑う毎日ですが、1日でも早く患者さんの役に立てるよう精進してまいります。

木内 華由



日々多くのことを学び成長できるよう精一杯研修に取り組んでまいります。ご指導よろしくお願いたします。

2

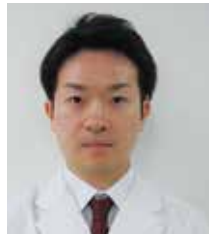
2年目研修医

伊澤 勝哉



1年間の研修を経て、緊張感が薄れ、成長も鈍化しているように感じます。緊湊一番励みます！

高岡 俊



1年間の研修を終え、様々な経験をさせて頂きました。まだまだ未熟ですが今後ともよろしくお願致します。

寺澤 翠



日々皆さまの優しさに感謝し今年も精進いたします。引き続きご指導ご鞭撻の程よろしくお願申し上げます。

青山 理央



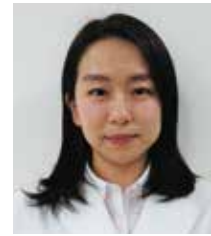
与えて頂いた貴重な研修期間を活かして、できるだけ多くの方々と関わり、日々学ばせて頂きます。

佐藤 江実



昨年学んだことを生かし日々精進して参ります。ご指導の程よろしくお願いたします。

吉本 奈央



まだまだ至らぬ点が多いですが精一杯頑張ります。引き続きご指導の程よろしくお願いたします。

先輩からのメッセージ 初期研修を終えて

徳島大学病院
麻酔科
高橋 里加子

令和2~3年度 徳島大学病院
AWAすだちプログラム
徳島大学病院・
愛媛県立中央病院・
徳島県立三好病院にて研修



はじめまして。徳島大学病院麻酔科の高橋と申します。徳島大学病院AWAすだちプログラムで初期研修を行い、この春から後期研修を開始しました。先生方にご指導いただきながら毎日学びの多い充実した日々を送っております。

さて、私は愛媛県立中央病院で1年間、徳島大学病院で10カ月、徳島県立三好病院で2カ月の間研修を行いました。徳島県ですと過ごしてきた私にとって、他県の大病院で内科や外科、救急をメインに様々な症例を経験したことや、23人もの同期と知り合えたことは貴重な経験であり、医師としても人としても一回り成長できた1年間だったように思います。2年目になり、将来の進路を迷って

いた私は、興味のある科を長めに選択したり、どの科に進んでも生かせる知識が学べるような科を選択したりと、後期研修に繋がるカリキュラムを組み研修を進めていきました。

当院のプログラムは県内外問わず様々な病院で、研修科や研修期間などを自由に選択できる点が大きな魅力かと思えます。また、卒後臨床研修センターのスタッフの方々にはプログラムについてももちろん、将来の進路についても常に親身になって相談に乗ってくださりました。初期研修の2年間は不安や迷いの多い時期ですが、良い研修生活を送ることができたと感じています。

徳島大学病院
救急集中治療部
板東 夏生

令和2~3年度 徳島大学病院
AWAすだちプログラム
徳島大学病院・
日本赤十字社和歌山医療センター・
かさまつ在宅クリニック・
徳島県立三好病院・
川島病院・田岡病院・
徳島県新型コロナウイルス入院調整本部
にて研修



徳島大学病院救急集中治療部の板東と申します。私は徳島大学病院AWAすだちプログラムでの初期臨床研修を修了し、今春より専攻医としての勤務が始まりました。

私は特別地域枠を利用し徳島大学に入学したこともあり、徳島県内での研修を考えていました。その中でも本プログラムを選択したのは、県内外問わず豊富な協力病院での研修が可能である点に魅力を感じたからです。1年目は日本赤十字社和歌山医療センターで9か月間、その後は徳島大学病院で研修を行いながら、かさまつ在宅クリニック、徳島県立三好病院、川島病院、田岡病院、徳島県新型コロナウイルス入院調整本部で研修を行いました。新型

コロナウイルス感染症流行下での研修でしたが、様々な病院だけでなく県庁で勤務するという経験ができたのも、自由に研修を組むことのできる本プログラムの強みと考えます。

また、卒後臨床研修センターの手厚いサポートも、当院での初期研修の魅力のひとつといえます。研修や進路、EPOC2、勤務管理など、日々の不安に対して幅広くサポートして下さるので、安心して研修に取り組むことができました。

最後になりましたが、卒後臨床研修センタースタッフの皆様をはじめ、初期研修にあたりご指導くださった全ての方々、この場をお借りして御礼申し上げます。

第264回 徳島医学会学術集会

2022年2月20日(日)に第264回 徳島医学会学術集会が開催されました。前回に引き続き、ポスターセッションはweb公開での発表形式となりました。徳島大学病院からは2年次研修医3名、1年次研修医3名の計6名が発表を行い、1年次研修医 高原 由実子先生が第27回若手奨励賞を受賞しました。ご指導いただきました各診療科の先生方には厚く御礼申し上げます。

若手奨励賞

1年次研修医 高原 由実子先生(血液内科)

「HIV感染症および後天性免疫不全症候群患者の臨床的特徴と今後の課題」



前回の受賞者(左から2番目:吉川紘平先生、同3番目:西條早希先生)

ホームページ

卒後臨床研修センターでは、適宜ホームページをリニューアルしています。医学生に向けた卒後臨床研修センター・研修プログラムの紹介動画および研修プログラムのデジタルパンフレットを公開しています。その他、新しい研修プログラムの情報や研修医のブログなど様々な情報を配信しておりますので、ご興味のある方は卒後臨床研修センターホームページにアクセスいただけますと幸いです。



徳島大学病院
Tokushima University Hospital

徳島大学病院卒後臨床研修センター

Tel: 088-633-9359 Fax: 088-633-9358
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp
URL: https://www.tokudai-sotsugo.jp